

# 2021(令和3)年度 事業報告

(2021(令和3)年4月～2022(令和4)年3月)

## I. 法人の概況

1. 設立年月日 2008(平成20)年12月25日

### 2. 定款に定める目的

本法人は難病小児を主たる対象とする自然体験施設の運営に関する事業を行い、難病小児とその家族の「QOL(生活の質)」の向上や心のケアに寄与することを目的とする。

### 3. 定款に定める事業内容

- (1) 難病小児等のための自然体験プログラムの企画及び実施
- (2) 難病小児等のための自然体験活動に関する啓発・普及
- (3) 難病小児等のための自然体験活動に関する調査及び研究
- (4) 自然体験施設の貸与
- (5) 農産物及び加工品等の販売
- (6) 生活雑貨用品の販売
- (7) ロイヤリティ事業
- (8) 前各号に附帯又は関連する一切の事業



「見晴らしの丘からみた専用施設群」

### 4. 主たる事務所・支部の状況

「主たる事務所」北海道滝川市江部乙町  
「従たる事務所」なし 4264-1

### 5. 役員に関する事項

(2022(令和4)年3月31日時点)

役職	氏名	常勤・非常勤	所属(職業)
評議員	池野 隆光	非常勤	一般社団法人日本チェーンドラッグストア協会 会長
	小林 勝子	非常勤	元 滝川市立病院看護部長 看護師
	小林 信秋	非常勤	認定NPO法人難病のこども支援 全国ネットワーク 顧問
	鈴木 忠男	非常勤	一般社団法人滝川市医師会 顧問 医師
	鈴木 洋之	非常勤	PwC Japan 合同会社 顧問 公認会計士
	平野 泰樹	非常勤	國學院大学北海道短期大学部 学長

評 議 員	前田 康吉	非常勤	滝川市長
	丸山 健	非常勤	丸山健・法律事務所 弁護士
	明円 直志	非常勤	滝川商工会議所 会頭
代 表 理 事	細谷 亮太	非常勤	聖路加国際病院 顧問 小児科医
業務執行理事	佐々木 健一郎	常 勤	公益財団法人 そらふちキッズキャンプ 事務局長
理 事	赤松 利恵	非常勤	お茶の水女子大学 基幹研究院自然科学系 教授
	木村 節子	非常勤	東海大学医療技術短期大学 小児看護学 講師
	木幡 美子 (岡 美子)	非常勤	株式会社フジテレビジョン CSR 推進部 部長
	齊藤 ひとみ	非常勤	滝川市立病院看護部長 看護師
	笹川 祐子	非常勤	道産子社長会 会長 東京滝川会 副会長
	富山 睦浩	非常勤	一般社団法人日本チェーンドラッグ ストア協会 社会貢献委員長
	文屋 学	非常勤	文屋内科消化器科医院 院長 医師
	松橋 浩伸	非常勤	滝川市立病院 院長 医師
	宮本 和俊	非常勤	前・旭川医科大学医学部 教授 小児外科医
	山内 康裕	非常勤	一般社団法人滝川国際交流協会 理事・滝川市役所
監 事	松浦 聖一	非常勤	北門信用金庫 常務理事
	宮崎 英彰	非常勤	A・I 税理士法人 税理士

## 6. 職員に関する事項

	2021(令和3)年 4月	2022(令和4)年 3月・4月	2022(令和4)年 5月
正規職員数	7名	8名	9名
非正規職員数	4名	4名	4名
合計	11名	12名	13名

## Ⅱ.事業の状況

### 1. 事業の実施状況

「コロナ禍の中で事業を実施する基本方針」

医療(小児)の補完的なサービスを提供する当財団としては、事業の実施にあたって、  
新型コロナウイルス感染拡大防止対策を第一に考え、柔軟に事業を変更し実施した。

#### (1) 難病小児等のための自然体験プログラムの企画及び実施(キャンプ事業)

**活動1:** 難病とたたかう子どもとその家族を、全国各地から招待してキャンプを実施する。

2021(令和3)年度は、1キャンプごと、同居する1家族に限定した、キャンプ・スタイルへの変更を継続し、計8回実施した。なお、キャンプ参加者は、合計で8家族32名であった。  
実施したキャンプ等の活動詳細は以下。

#### 「宿泊ファミリーキャンプ(レスパイトキャンプ)」計4回 4家族15名参加

※参加者側・キャンプ場側のいずれも Covid-19 緊急事態宣言期間外で実施

○6月25日(金)～28日(月) 3泊4日 横浜市立大学病院より小児科医1名同行

→1家族5名(神奈川県在住) 小児がんとたたかう子どもと家族

○8月20日(金)～23日(月) 3泊4日

→1家族3名(愛知県在住) 小児がんを経験した子どもと家族(元キャンパー家族)

○11月20日(土)～23日(火祝) 3泊4日 東京医科歯科大学より小児科医1名同行

→1家族4名(神奈川県在住) 小児がんとたたかう子どもと家族

○12月10日(金)～13日(月) 3泊4日 聖路加国際病院より小児科医1名同行

→1家族3名(神奈川県在住) 小児がんとたたかう子どもと家族



「馬房施設での馬とのふれあい(6月)」



「石窯での昼食ピザ作り(8月)」



「夕食ジンギスカン焼きそばの調理(11月)」



「大浴場入浴前の下見(12月)」



## 「日帰りファミリーキャンプ(北海道在住者対象)」計4回 4家族17名参加

※北海道 Covid-19 緊急事態宣言期間外で実施

7月に、北海道在住1家族限定の日帰りデイキャンプを週末4回開催し、病気や障がいをもつ子どもと家族に、馬アクティビティを中心とした、外遊びを提供した。



「馬のお世話(シャワー)」



「森たんけん(ツリーハウス探検)」

**活動2:** キャンプが安全に運営できるようにソフト・ハード面でサポート体制を充実させる。

### 「医療・食事支援体制等の充実」

- ・少人数参加者への食事提供(試行)として、地元飲食店他の協力を得て、海鮮やザンギ、アイスなど、地元(北海道)を意識した食事提供を行なった。
- ・医療緊急時対応の更なる充実のため、滝川市立病院、砂川市立病院、滝川地区広域消防事務組合へ、綿密な情報貢献を行い、協力を依頼した。

### 「キャンププログラムの充実」

- ・馬アクティビティを充実させるため、馬専門の獣医師や馬セラピーのインストラクターを招聘、キャンプ場スタッフ(馬担当)への実地訓練を行なった。(9/12,13 の2日間)

### 「ボランティア募集・調整」

- ・宿泊キャンプでは、専門資格を持った医療・食事ボランティアの協力を得て医療・食事提供を行なった。
- ・連携している北翔大学(北海道江別市)杉岡ゼミの学生ボランティアが、キャンプ場の維持管理作業(薪割り等)を行なった。



「連携大学による維持管理ボランティア」

### 「キャンプ場の維持管理及び整備」

- ・施設設備の改修・修繕計画に沿って、事務棟・医療棟の屋根塗り替え作業、給湯ボイラーの一部入れ替えなどを行なった。

**活動3: 難病の子どもたちが過ごす、全国各地の病院(病室)や自宅に「楽しみ」を届ける。**

**「キャンプ用品ギフト」**

闘病生活においてキャンプの雰囲気を感じてもらうため、全国各地に居る元キャンパーや協力小児科医に呼びかけを行い、キャンプ用品をプレゼントした。 協力：コールマンジャパン  
→51 家族（室内水耕栽培イベント参加報告者他）  
（5～7月中心、通年）



「ギフトを使って自宅の庭でキャンプ」

**「スノーギフト」**

キャンプ場に積もった雪を専用のスノーボックスに詰め、冷凍空輸にて、雪の積もらない地域の病院や施設に贈った。→72 箱（1 月下旬から 2 下旬）  
協力：小野薬品工業

※詳細別紙レポート参照



「入院中の子どもの雪遊び」

**「その他ギフト」**

- ・自然体験 V R 映像は、希望病院へ機器貸出のための説明を行なった。（2 病院）
- ・貼って剥がせる北海道動物ウォールステッカーは適時希望者へプレゼントした。（12 セット）

**活動4: 元キャンパーたちへ、医療ケア付キャンプ場としての応援メッセージを送り続ける。**

**「クリスマスカード他の送付」**

毎年送っているクリスマスカードを、本年度も元キャンパー約 400 名に郵送した。

**「インターン(就労体験)の機会提供」**

免疫が低いことなどで、行動に制限がある元キャンパー（成人）を対象とした、インターンとしての受け入れを行い、就労体験の機会を提供した。→1 名  
（滝川市内、心臓疾患・元キャンパー）



「元キャンパーのインターン」



「元キャンパー全員へ送ったカード」



## (2) 難病小児等のための自然体験活動に関する啓発・普及(広報PR事業)

### 「広報イベント・P R 活動の実施」

#### ○キャンプ場一般公開イベント(事前予約制キャンプ場見学会)

感染症対策の一環として、不特定多数が集まる公開イベントから、事前予約制の見学会へ内容を変更し開催した。(10/2(土)、10/3(日) 計 30 名参加)



「キャンプを紹介する写真展の開催」

#### ○写真展の開催

北翔大学(北海道江別市)において、オープンキャンパス期間 11/29-12/12(10 日間)に開催。のべ 270 名の来場者があった。開催全面協力:北翔大学杉岡ゼミ

#### ○キャンプ場見学の受け入れ、全国各地での P R 講演他

滝川 R C 他の見学受け入れ、北海道小児科勉強会他での P R 講演を行なった。

### 「インターネットによる広報活動」

- ・ホームページ(ブログ)の定期更新:1日平均 約 70PV(アクセス数)、50UU(訪問者数)
- ・Facebook(FB)、Instagram(IG)他の定期更新:フォロワーFB 約 2,000 名、IG 約 500 名

### 「広報ツールの充実」

- ・闘病中の子どもが描いたイラストを使ったオリジナルグッズ(T シャツ・エコバック) を製作し、広報ツールとして配布した。計 500 枚
- ・キャンプ写真を掲載したオリジナルカレンダーを作成し、400 部配布した。

### 「マスメディアへの露出」

- ・8 月 元キャンパーのキャンプ場職員(北海道新聞(全道版)) ※別紙「新聞記事」参照

### 「企業・団体への支援依頼活動」 ※ドラッグストア業界からの支援は、多数のため別紙記載

- ・アウトドアメーカー「モンベル」全店舗にて、そらぶち寄付つき T シャツの販売開始。(3 月)
- ・支援者(リアル)イベントでのブース出展 P R 等は以下。

10/5 ウェルシア・ライオンイベント@埼玉

ロビーにてポスター展示 PR

10/13~15 ナーシングケア EXPO@幕張メッセ

VR ブースにてパンフ配布 PR



「店舗に並ぶ、そらぶち寄付つき T シャツ」

### 「個人への支援依頼活動」

- ・応援チャリティキャンペーンへの参加等を、Facebook、Instagram などと呼びかけを実施。

### (3) 難病小児等のための自然体験活動に関する調査及び研究(調査研究事業)

以下の関連学会に WEB 上で参加し、情報収集を行った。

・4/16-18 日本小児科学会@WEB(京都) ・11/25-27 日本小児がん学会@WEB(大阪)

## 2. シリアスファン・チルドレンズネットワーク(以下SFCN)との連携

当財団は、故・ポール・ニューマンが創設者である難病児キャンプの国際団体SFCNに、正会員として加盟しており、本年度も定期的に WEB 会議等で情報交換を行った。

また本年度は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響で、世界中のキャンプ場でキャンプ中止・内容変更等があり、その点での情報交換を綿密に行った。特に、キャンプ通常開催のための、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に対処する、国際的なガイドライン作成に向けた協働作業を行っており、翌年度以降、完成・運用開始予定となっている。

## 3. 重要な契約に関する事項

記載すべき事項は特になし

## 4. 役員会等に関する事項

### (1) 理事会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
2021 年 5 月 21 日	1. 2020(令和2)年度 事業報告 承認の件 2. 2020(令和2)年度 決算報告(案) 承認の件 3. 田村評議員退任に伴う新・評議員選任(案) 4. 2021(令和3)年6月定時評議員会について	(WEB 開催) 全会一致で 承認・可決
2022 年 3 月 18 日	1. 2022(令和4)年度 事業計画 承認の件 2. 2022(令和4)年度 収支予算 承認の件 3. 役員等賠償責任保険の継続加入	(WEB 開催) 全会一致で 承認・可決

### (2) 評議員会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
2021 年 6 月	1. 2020(令和2)年度 決算報告 承認の件 2. 田村評議員退任に伴う新・評議員選任の件	書面決議にて 承認・可決

## Ⅲ. 法人の課題

記載すべき事項は特になし

## Ⅳ. 決算期後に生じた法人の状況に関する重要な事実

記載すべき事項は特になし

以上